

救援物資集荷と輸送レポート

集荷場所

3月29日 午後 月島総業(株)月島本社
午後 3:00 過ぎ 坂本自動車工業(株)
篠崎中古車センター
午後 4:00 過ぎ 江戸川区立中小岩小学校

支援物資届け先

3月30日 午後 12:00 過ぎ 陸前高田市広田小学校

運送経路と現地状況

3月30日の午前0時月島総業(株)浦安事業所からの出発予定であったが運転手が連日の横持ち集荷及び被災地への長時間の運転でだいぶ疲れていた様子で仮眠超過の為に遅刻、3時間遅れの午前3時過ぎに出発。物資届け先予定地は陸前高田であったがまず釜石に向かう。運転手と坂本の二人で交互に運転、一睡もせずに午後12時過ぎに釜石に到着する。市街地はまさに商店街に津波が来た状況を想像して下さい。店先には瓦礫や車が積み上げられてはいるが店の関係者と思われる被災者の方々が懸命に撤去作業をしている姿が見られ、港の方に行ってみると大型タンカー等が岸壁に乗り上げていたが漁業関係や造船所関係者と見られる方々がやはり撤去作業を行っていて復興に向けての前向きな気持ちを感じ取れた。新日鉄のヤードには既に瓦礫が山となって積み上げられていた。多分一時的に市内の瓦礫を集積しているのだと思われた。信号機は停電のため兵庫県警が交通整理を受け持っていた。警察官に話しかけてみたところ、やはり阪神淡路大震災と比べ、より甚大な災害と認識していた。

次に大船渡に立ち寄ってみたところ住宅は意外と高い所に多く津波の被害に遭った地域はそんなに広くはないように見えた。様式トイレを想像してみても下さ。便座の部分に当たるところにあった住宅が津波ですっかり無くなったと思われる。知り合いの子供の北里大学に通う学生が今回偶然、喘息治療のため東京に戻っていたところ住んでいたアパートと軽自動車は全て流され、未だ大家さんご夫妻と同級生一人が見つからないと連絡が入った。まさにそのアパートは便座部分に有ったという。人の命は本当に紙一重だと思う。

その後、目的地陸前高田市に向かった。現地に着いてわが目を疑った。何処へ行っても360度見渡す限りの瓦礫の山！海岸側は余程の勢いだったのか瓦礫は全く無く逆に山間部の上に行けば行くほど瓦礫が高くなっていた。お年寄りが

自宅の有ったと思われる所でただ茫然と立って見ている姿を何ヶ所かで見かけた。かろうじて残った広田小学校に2時過ぎに到着。荷物を全部降ろし終わったところ現地の人たちが「何処から来てくれたの?」と聞かれたので「東京からです!」と答えたところ「わざわざ、そんなに遠くから来たの?」と言うので「当然でしょう!」と返事したら「煙草は?持ってこなかったの?今度来る時は煙草を持ってきてくれればいいよ」とこんな調子で大人たちは互いに落ち込まないように意識的に明るく振舞っているように感じられた。反面、田舎の子供は青っ鼻を垂らし元気いっぱいなイメージがあったが、小学生や幼児に声を掛けてみたところ反応が鈍く口数も少なく、やはり何らかの精神的ダメージを受けているように思われた。中学生にも声を掛け「何か欲しい物はあるかい?」と聞いたところ「今のところ欲しい物は何も頭に浮かばない」と返事が返ってきた。「食べ物?」と聞いたら「本当は魚が食べたいけれど港もダメだし放射能の影響も心配だからサバ缶で我慢します」と……。「肉?」と聞けば「電気も発電機も無い状態だから衛生管理上、我慢します」との事。3人居たが内1人は野球部で食べざかりなのにといい早く好きな物をお腹いっぱい食べさせてあげたいと切に思った。今回、物資の他にひまわりが放射能を吸収する効果が有るという事で東京発 勇気と希望の花“ひまわり”と印刷した種を800袋持って行き先生方に説明すべく職員室に行ったところ校長先生、副校長先生、殆どの先生方は覇気が無く反応も鈍く話をするにも困ったなぁと思ったが話題をちょっと変え「少ないですがランドセルを17個持ってきました」と話をしたら殆どの先生方が振り返り「有難うございます!子供達が喜びます!」と一変して明るい顔つきになり「その他にも欲しい物が○○や　　も」と話し始め、ひまわりも落ち着いたなら早速植えて子供達も落ち着いた様子なら咲いたひまわりの絵を描かせると話をしてくれました。帰り際に偶然、元陸前高田LCの小松 眞様と話をする事ができ「去年、体調不良で退会したが孤立しているこの広田小までLCが物資を運んでくれて感動した!嬉しい!有難う!」と涙目で握手を求めて来た。こちらもその言葉にグッと来るものがあった。この小学校は電気・水は勿論、発電機も無く行政から来る予定は今のところ無い為、是非発電機だけでも何とかして欲しいとお願いされた。4日前に新橋LCからの電子レンジが届いているのに使えないとの事だった。近いうちに再度物資を持って来ると約束をして帰路に着く。浦安に到着したのは31日午前0時!一睡も出来ずの往復19時間だった。大変疲れしました。

レポート：東京江戸川LC L・坂本 潤之輔

緊急支援物資 提供者一覧表 順不同

品 物		提供者
婦人靴	2 1 足	江戸川区西小岩商店街 グレースリセ
婦人ブーツ	3 1 足	
婦人スニーカー	2 0 足	
ジュニアスニーカー	1 7 足	
子供靴	1 5 0 足	
合計 1 0 箱		
子供スニーカー	1 5 足	東京江戸川 L 坂本レディ
メンズスニーカー	1 3 足	
身障者用スニーカー	7 足	
子供長靴・ブーツ	3 9 足	
ダウンコート・キルティング上下服	2 枚	
レディーススニーカー	9 足	
大人長靴	1 9 足	
おんぶヒモ	5 個	
合計 1 0 箱		
タオル新品	3 0 0 枚	埼玉県朝霞市栄町太白楼 千原慶干
味噌	1 箱(8 個入り)	
醤油	1 箱(6 本入り)	
おしぼり	1 0 0 本入り × 1 2	
手編みベスト(お手紙入り)		
手の消毒液	3 本	
大人用衣料		江戸川区立中小岩小学校 P T A ・教職員 他
ランドセル	合計 3 8 箱	
中古スコップ	6 本	江戸川区下篠崎町会
長靴	1 0 足	
本	1 0 冊	晴海 L C L 松井政広
中古衣料	7 袋	